

IoT デバイスや AI 等の各社サービスの連携により 「脳の健康状態の日常チェック」と「生活介入による機能維持」 実証施策を開始

—4 社連携での日常的な脳パフォーマンス維持環境整備を目指す—

株式会社学研ホールディングス(本社:東京都品川区/代表取締役社長 宮原博昭)のグループ会社で、高齢者支援事業を行っている株式会社学研ココファン(本社:東京都品川区/代表取締役社長兼 COO 森 猛、以下当社)は、東京海上日同火災保険株式会社(本社:東京都千代田区、取締役社長:広瀬 伸一)、NTT PARAVITA 株式会社(本社:大阪府大阪市中央区、代表取締役:中野 康司)、及びジョージ・アンド・シヨン株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役:井上 憲)の4社の連携により、超高齢化社会を迎える日本において、高齢者住宅での日常的な脳の健康状態のチェックと、睡眠改善を中心とした生活介入による、健康長寿延伸を実現のための各社サービスの連携に向けた実証を12月16日(水)より開始します。

■実証施策の目的

本施策は、年間14兆円にもおよぶ認知症ケアに発声する費用の削減と、何より、認知症の発症を1日でも遅らせることで、可能な限り長い間健康で過ごし続けられる高齢者の方々が1人でも増えていくことを望んだ各社の思いから発足した実証施策です。

本実証施策では、高齢者住宅・施設を対象とした以下2つの課題を解決することを目的に、将来的には在宅でのケアにも本知見を展開していきたいと考えています。

1. 生活習慣データの AI 解析により脳の健康状態を日常的にチェックできる環境の整備

・高齢者が認知症の発見に対して抵抗感があることや、脳の健康状態を測定することへの興味が低いことから認知症の発見が遅くなってしまっていることを解消し、生活習慣データを利用することで、本人負担なく脳の健康状態のチェックを行える環境を整備します。

・高齢者向け住宅などの特定施設において、高齢者の健康状態の変化を早期に知ることにより、従事者のオペレーション品質向上や、徘徊等の不意な事故発生の抑制を目指します。

2. 脳の健康状態の維持に効果が見込まれるサービスを負担なく受けられる環境の整備

・一般に、脳機能維持に効果的とされる療法がある一方で、サービスとして確立されていないことや利用費用が大きいという課題を解決し、脳の健康維持を負担なく図れるサービス提供環境をつくります。

・睡眠情報を中心とした日常生活情報モニタリングと、高齢者住宅従事者による介入オペレーションのトライアルにより、高齢者に負担のない脳の健康の維持活動の支援を行います。

■当社の役割

本施策において、当社は下記の役割を担います。

- ① 当社運営の高齢者向け住宅入居者の方々からの協力者募集
- ② 健康寿命延伸に関わる複数施策の事業所展開に向けた、スタッフ・オペレーション、入居者へのコンサルテーション業務のトライアル

今後も当社は、誰もが年齢を重ねても不安なく生活し続けることができる環境づくりに貢献していきます。

【本リリースに関するお問合せ】

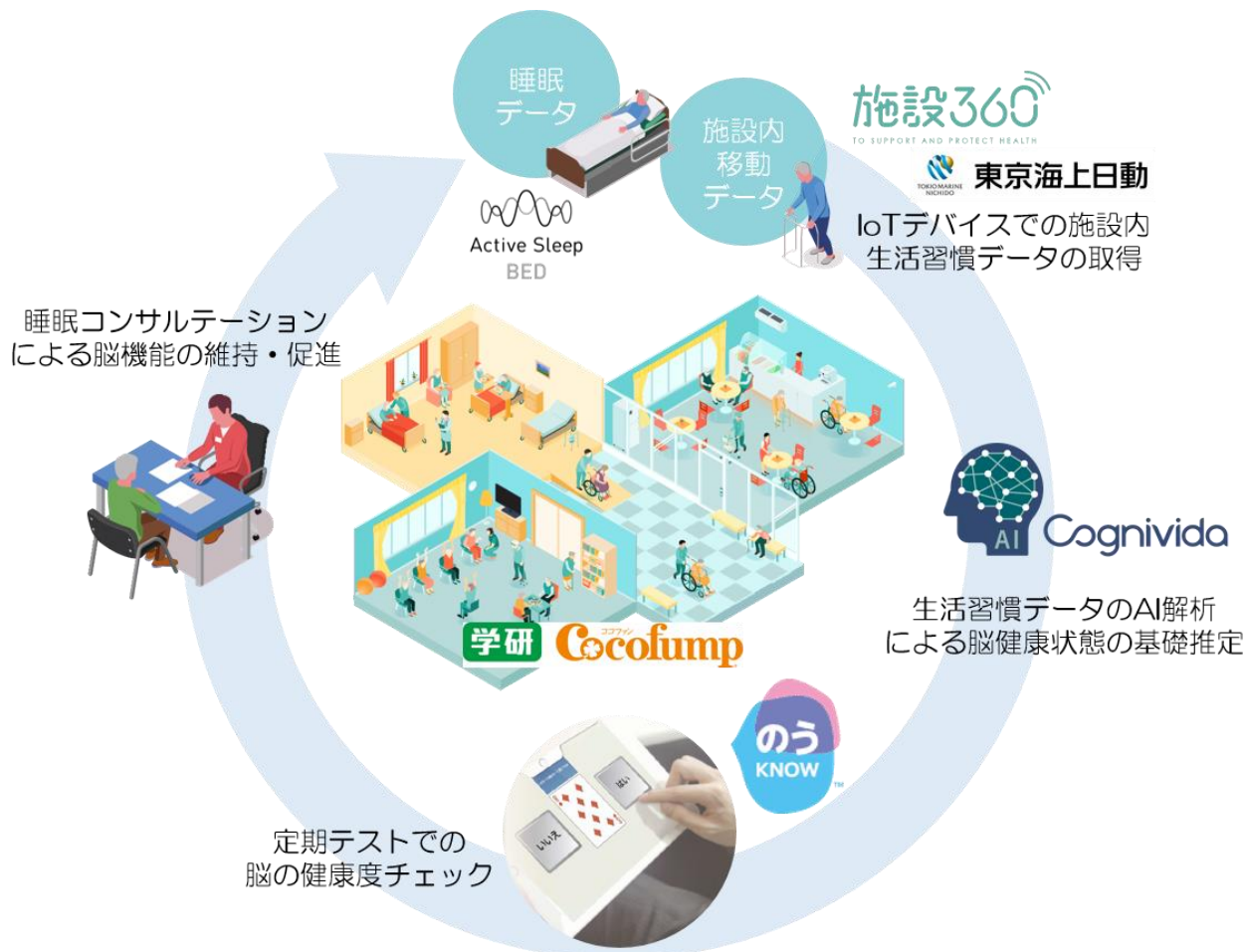
株学研ココファン 経営企画部 広報チーム

TEL:03-6431-1863 / FAX:03-6431-1864 E-mail: info-hd-pr@cocofump.co.jp

実証施策詳細

本施策は脳の健康状態のチェックから、生活介入による脳機能維持までの一連のプロセスをシームレスにつなげるために、各社の持つ既存サービス間での連携に向けた実証を行います。

■各社の役割



・東京海上日動火災保険

① 「施設 360°」への商品付帯保険(※4)の提供

・NTT Paravita

① 高齢者施設に設置する睡眠センサー「Active Sleep ANALYZER(※2)」の提供

② 睡眠課題に対してのコンサルテーションサービスの提供

・ジョージ・アンド・ショーン

① 高齢者施設内位置情報把握サービス「施設 360°(※3)」の提供

② 生活習慣情報を利用した脳の健康状態測定 AI エンジン「Cognivida(※5)」の提供

③ 脳の健康状態の日常的な把握と脳健康維持のための生活介入の可能性検討

1. IoT デバイスを利用した低負荷での生活習慣データの取得と、AI による脳健康状態の基礎推定

<施策内容>

高齢者の生活習慣情報として、「施設 360°」と「Active Sleep ANALYZER」の 2 種類の IoT デバイスを活用し、高齢者施設内での位置情報の履歴や、睡眠状態等の生活集権データの収集を行います。

収集したデータは Cognivida を始めとする脳の健康状態を推定する AI エンジンを利用して、日常的な脳機能の簡易チェックを行います。

<想定される成果>

- ・高齢者住宅・施設入居者向け IoT デバイスの利用負担に対するフィードバックの獲得
- ・AI を活用した日常的な脳機能変化チェックが与えるスタッフ・オペレーションへの効果測定

2. Cognivida と「のう KNOW」※1 の連携による脳健康度チェックの習慣化

<施策内容>

Cognivida による脳健康状態の日常的な基礎推定に加えて、より詳細な脳健康度チェックツールとして「のう KNOW」の月に一回程度の定期受験を行います。

これは、Cognivida で推定される脳健康状態のスコアの継続的な低下や、特定閾値を下回りが見られる対象者に、積極的な「のう KNOW」提供を推薦していくことで、自覚がない段階でも脳健康度をチェックすることへの興味を促していくことを想定しています。

<想定される成果>

- ・Cognivida と「のう KNOW」の相関性の把握
- ・日常的な脳健康度チェックに対する高齢者フィードバックの獲得

3. 睡眠コンサルテーションによる介入と効果測定

<施策内容>

Active Sleep ANALYZER を介して掲載された睡眠情報を利用して、睡眠時無呼吸症候群(SAS)や頻繁な中途覚醒などの状態を把握します。また、睡眠状態を健康に保つために、睡眠改善のためのコンサルテーションの提供により、不適切な睡眠状態の改善を図ります。睡眠改善コンサルテーション実施の方針としては、「高齢者ご本人向け」、「施設従事スタッフ向け」、「IoT デバイスを活用した改善環境構築」の 3 つの方針による提供を予定しています。

<想定される成果>

- ・脳機能維持を目的とした睡眠コンサルテーションの効果測定
- ・睡眠コンサルテーションに対する利用者フィードバックの獲得

4. 施設内サービス利用における保険適用

<施策内容>

外出時の高齢者事故時の負担削減を目的に、施設 360°に付帯保険の提供を行います。また、脳健康状態の低下が見られる特定高齢者に対して保険適用を行うことが、費用負担低下による、維持・回復サービスの積極的な利用につながるかのアンケートチェックを行います。

<想定される成果>

- ・保険適用による高齢者住宅・施設向けサービスの利用ハードルの低減効果の測定
- ・その他、高齢者向けサービスに対する保険適用への期待値の幅広い収集

■対象の高齢者住宅と実施規模

学研ココファンの運営する以下 2 事業所より協力者を参集し、約 40 名の方に協力いただきます。

- ・ココファンレジデンス湘南台
- ・ココファン藤沢

■実施期間

2021 年 12 月 16 日(木)～2022 年 12 月 15 日(木)

施策開始から約 1 年間の実証期間。実証終了後は、社会実装を各社連携により推進していく。

■各サービスについて

※1「のう KNOW」

「のう KNOW」は Cogstate Ltd.(本社:オーストラリア)が創出したアルゴリズムに基づき、イーザイ株式会社が開発したブレインパフォーマンス(脳健康度)のセルフチェックツール。

PC やタブレット端末を用いた簡便なトランプテストによって、脳の反応速度、注意力、視覚学習および記憶力を評価する4つのテストを行い、ブレインパフォーマンスを定量的に測定する。結果画面には、「記憶する」「考える」「判断する」などのブレインパフォーマンスを定量化した指標「ブレインパフォーマンスインデックス(BPI)」と生活習慣においてブレインパフォーマンスを維持するためのアドバイスが表示される。疾病の予防や診断を目的としたものではなく、健康意識を高めるために行っていただくことを目的としている。

参考リンク:<http://nouknow.jp>

※2 Active Sleep ANALYZER

「Active Sleep ANALYZER」は NTT PARAVITA 社の親会社である、パラマウントベッド株式会社より提供される、睡眠データ収集・解析のための IoT デバイス。ベッドタイプ、布団タイプ等利用シーンを選ばず、広く一般的な睡眠環境を変えることなく日々の睡眠データを取得し、睡眠スコアと睡眠改善アドバイスを提供する。

参考リンク:<https://activesleep.jp/asa/>

※3 施設 360°

ジョージ・アンド・ショーン社により提供される、高齢者施設入居者およびスタッフの位置情報把握のためのサービス。高齢者やスタッフは同社が提供する小型のビーコンタグ「biblle(ビブル)」を利用することで、受信機と合わせて位置情報を把握する仕組みとなっている。リアルタイムでの位置把握に加えて、施設からの外出検知や、生活習慣データのモニタリングも可能。同社が提供する Cognivida との連携により、脳の健康状態を推定する機能も備えている。

[グッドデザイン賞 2021]受賞。

参考リンク:「施設 360°」

<https://george-shaun.com/service/biblle-alliance/shisetsu360/>

「見守りタグ biblle」

<https://www.biblle.net/>

※4 施設 360°商品付帯保険

高齢者施設入居者への外出時(道路通行中や交通乗用具に搭乗中)の事故等の補償を目的にジョージ・アンド・ショーン社より提供される保険サービス。施設 360°への商品付帯保険の形態にて、東京海上日動火災保険社より提供される。

※5 Cognivita

高齢者の方々の生活習慣データから脳の認知機能を推定する AI エンジンとしてジョージ・アンド・ショーン社より提供されるサービス。検知に用いるデータは「位置情報の履歴」、「睡眠サイクル」、「家電利用の状況」、「対話データ」等広範なデータからの推定を可能としている。[グッドデザイン賞 2021]受賞。